

議 事 録

<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開			非公開 部 分 理 由		
			保存期間		30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
			作成日		令和5年11月29日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 企画振興課企画政策係
					職・氏名 主査 櫻井 洋平 印
会議等の名称		令和5年度 第2回東御市行政改革審議会		開催日時	令和5年11月28日（火） 午後 6時30分～ 午後 7時20分
				場 所	本館2階全員協議会室
主催者(事務局)		企画振興課		司会者	井上企画振興部長
出席者		重田行子、小林経明、松田弘、中陽平、森俊也、岩下欣弘、吉池直美 井上企画振興部長、岩下企画振興課長、大塚企画政策係長、井澤、櫻井			
欠席者		坂口晋一、船田寿夫、小山岳史			
議 題		(審議事項)		(配布資料)	
		・ 第5次東御市行政改革大綱について		別紙会議資料のとおり	
決定事項 (要点を簡条書き)		・ 第5次東御市行政改革大綱について、委員意見を反映させパブリックコメントを実施する。			
次回への検討					
次回開催		(日時) 令和6年2月(予定)		(場所) 未定	

様式第4号（第21条関係）

<p>討議内容及び経過</p>	<p>(発言者名)</p>	<p>(発言内容)</p>
<p>第5次東御市行政改革大綱について</p>	<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P6 「定員適正化計画」について会計年度任用職員の扱いはどうなっているか。 ・P6 公共施設等マネジメントについて、削減とはどのような意味か。 ・P7 市民サービスのDXの推進とは例えばどのようなことか。
	<p>大塚係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「定員適正化計画」について会計年度任用職員は含まれていない。定員は定めていないが、必要最低限の人数で運営していく。 ・公共施設について、全てを残すことは難しいため、役目を終えた施設を見定めながら廃止・統合等を検討していく。 ・市民サービスのDXの例として、現在運用しているサービスだと住民票のコンビニ交付等がある。今後は、スマホから申請すれば市役所に来なくても用事が済むようにするなど、市民の利便性向上を考えていきたい。
	<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P5 DXの推進について、「革新的な」とはどのような意味か。 ・P6 人事評価制度について、人材の確保というよりは職務の遂行に力点をおいているのではないか。
	<p>大塚係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「革新的な」という言葉には、デジタル技術を活用して市役所の業務を一変させていくという意味を含めた。例えば、市民が家にいながらサービスを受けられる「来させない」窓口の例がある。 ・人事評価制度については、職務の遂行に力点を置いているので、表現を修正する。
	<p>委員</p>	<p>P7 DXについて、誰一人取り残さない状態をどのように実現していくか。</p>
	<p>大塚係長</p>	<p>全ての市民がデジタル技術に精通していないということを念頭において、システム設計をしていきたい。まずは、マイナンバーカードを読み取れば基本情報が申請書に自動的に入力できるなど、デジタルを活用することで、市民がより便利になるようなサービスを提供していきたい。</p>
	<p>委員</p>	<p>やることが多いが、重点施策を定めるなどしてアピールポイントを明確にした方がいいのではないか。</p>
	<p>大塚係長</p>	<p>大綱なので、あまねく項目について記載しているが、重点的に取り組んでいく項目としてはDXだと考えている。DXを進めるうえでも民間事業者との連携や、業務プロセスの見直しなど様々な取組が必要になる。</p>
	<p>櫻井</p>	<p>DXに重点を置くために、業務改革中の一項目とするのではなく、基本方針の一つとした。また、サマーレビューは毎年重点的に取り組む項目を決めて実施しているので、継続していきたい。</p>
	<p>委員</p>	<p>マイナンバーカードを活用したら、印鑑証明書が簡単に取得でき、利便性の向上が実感できた。高齢者をデジタル化から取り残さないために、スマホ教室等を継続して実施してもらいたい。</p>
	<p>大塚係長</p>	<p>スマホ教室などのデジタルデバイド対策は継続して行っていきたい。チケットQRを実施した際には、高齢者も夢中になってスマホを使用していたので、今後も市民ニーズに合った施策を展開してDXを推進していきたい。</p>
		<p style="text-align: right;">以上</p>